

令和4年度
第67回 山形県南北対抗柔道大会 山形県柔道高段者大会
大会実施要項

- 1 主 催
山形県柔道連盟
- 2 主 管
置賜地区柔道連盟
- 3 後 援
山形県 山形県教育委員会 (公財) 山形県スポーツ協会, 酒田市, 酒田市教育委員会
酒田市体育協会, 山形県柔道高段者会, 山形県柔道整復師会 NHK山形放送局,
山形新聞・山形放送, 山形テレビ, テレビユー山形, さくらんぼテレビ
- 4 期 日 令和4年10月30日(日) 午前10時00分
- 5 会 場 南陽市体育館内 武道場
南陽市三間通 1096 電話 0238-49-2600
- 6 日 程 審判・監督会議 午前 9時45分
競技開始 午前10時15分
 - (1) 開・閉会式は行わず, 競技開始時刻になったら, 先鋒から順次試合を進めていく。試合終了後, 優勝チーム・優秀選手の表彰(代表者・選考者)のみ行い, 解散する。
 - (2) 本大会は、新型コロナ感染予防対策のため、**無観客とする**(令和4年9月1日現在)。
但し、高校生, 中学生及び小学生選手の保護者(各選手につき1名)の入場を認める。
- 7 参加資格
 - (1) 選手は県内に居住し, 勤務又は在学している条件を満たすこと。
なお, 地区別の基準は, 勤務先又は在学先を基準とする。
※ 「出身地選手制度」の導入
但し, 高校生で選手に指名されている者に限り, 当該選手の出身地が属する地区柔道連盟から要請があった場合は, その該当する地区から出場することができるものとする。
 - (2) 選手は日本国籍を有し, 全日本柔道連盟に登録していること。
- 8 実施要項
 - (1) 試合の順序
試合は山形県南北対抗柔道大会, 山形県柔道高段者大会の順で行う。
(開会式を行わないため, 予め十分なウォーミングアップを行っておくこと)
 - (2) 試合の方法
 - ア 山形県南北対抗柔道大会
 - ① チーム区分は次のとおりとする。
南軍=米沢地区, 置賜地区, 上山市, 山形, 東村山地区の5地区
北軍=酒田地区, 鶴岡地区, 最上地区, 寒・西村山地区, 北村山地区の5地区
 - ② 各チームの出場選手等は次のとおりとする。
○ 監督1名, 副監督2名

○ 男子選手

5段以上3名，4段3名，3段6名，2段以下8名，補欠3名とし，3段以上は大学生又は社会人，2段以下は，社会人2名，高校生2名，中学生2名及び小学5年生又は6年生いずれかの2名で選手20名と補欠3名の合計24名（補欠3名の段位は各チームに任せる。）とする。

○ 女子選手

16歳（大会日基準）以上の選手3名，中学生1名及び小学5年生又は6年生いずれかの1名で，補欠1名（段位の制限なし）の6名とする。

なお，出場選手数は各地区から男子5名以内，女子2名以内を原則とする。

但し，各地区で都合が付かない場合，チーム間で協議し選手選考に当たる。

③ 女子・男子選手合計50名の25組による「点取り試合」とする。

④ 選手の出場順序は，女子，男子の順とし，男女とも低段位者から高段位者で，かつ年齢順とする。

⑤ チーム編成（選手構成）は段位別とし，原則として同段位者をもって構成するが，同段位者に不足が生じ異なる段位者を起用する場合，直近の低段位者を充てることのできるものとする。

また，補欠を起用する場合も原則として同段位の選手を補充すること。やむを得ず段位の異なる選手を起用する場合，直近の低段位者を充てること。

なお，無段者及び小学生の選手に不安がある場合は，そのことを見越して予め補欠3名の中に入れることができる。

但し，この場合は同学年でなければならない。

⑥ 対抗試合の勝敗は，勝者数の多い方を勝ちとする。勝者数が同じの場合（内容は問わない）は，代表戦を行わず引き分けとする。

イ 山形県柔道高段者大会

① 大会は，30歳代，40歳代，50歳代，60歳代及び70歳代以上（何れの年齢も大会日基準）の5部門とし，5段以上の者に限る。

② 試合方法は個人戦で，同段位の者との1試合とする。

③ 同大会は男子のみとする。また，過去5年以内に，全日本柔道選手権大会及び成年の部で国民体育大会（東北総体含む）に出場経験のある者は，参加できないものとする。

(3) 試合及び審判

ア 審判規定は「最新の国際柔道試合審判規定」による。

イ 試合時間

① 南北対抗柔道大会

全て4分間とする。

② 高段者大会

全て3分間とする。

ウ 勝負の判定基準は，南北対抗及び高段者大会とも「技あり」又は「指導の差2以上」とする。

但し，上記の得点差がない場合は，南北対抗，高段者大会はとも「引き分け」とする

(ゴールデンスコアは行わない)

(4) 柔道着へのゼッケン貼付は不問とする。

9 表彰

(1) 南北対抗は、優勝チームを表彰するとともに、優秀選手(若干名)選考の上、賞状と賞品を授与する。

(2) 高段者大会は、優秀選手若干名を選考し、賞状と賞品を授与する。

10 選手の報告

(1) 監督の指名

監督を別添(表)のとおり指名(2年連続)する。

(2) 各監督が中心となり、適宜な方法で副監督、選手を選出して、当該責任地区が取りまとめの上、別紙1に記載し令和4年10月7日(金)午後5時まで、大会事務局宛に必着の手続きをとること。

大会事務局 〒990-2371 山形市村木沢146

県柔連事務局長 開 沼 敏 行 宛

TEL: 090-1064-8824 FAX: 023-645-2149

e-mail: tqsmd087@ybb.ne.jp

(3) 責任地区の指名等

本年度の責任地区は、「南軍チームは上山市」,「北軍チームは北村山地区」とする。

また、高段者大会は個人参加であるが、地区ごと別紙2に記載し取りまとめて申し込むこと。

なお、小・中学生の場合は、別紙3の出場参加承諾書を同封すること。

11 参加費

(1) 南北対抗

各チーム 2万円

(2) 高段者大会(南北対抗とは別に徴収)

1人 1,000円(個人負担)

なお、それぞれの参加費は、大会当日受付に支払うこと。

12 組み合わせ

大会事務局で決定する。

13 新型コロナウイルス感染予防対策について

「添付資料」に基づき厳守すること。

14 その他

(1) 各地区柔道連盟は、審判員1名を選出し、別紙4に記載し、令和4年10月9日(日)午後5時まで大会事務局に報告のこと。

(2) 高段者大会は、今後の昇段申請に必要な不可欠な条件となりますので、実体の伴った積極的な参加を促して下さい。

(3) 南北対抗柔道大会及び高段者大会に出場する各選手の傷害保険については、各軍で必ず加入すること。

(4) 昼食(弁当)の注文

昼食の注文を受け付けるので、地区(審判及び選手分)ごと別紙5に取りまとめの上、

10月7日（金）まで、主管事務局に申し込むこと。

なお、代金（1食700円税込お茶付き）は大会当日釣り銭のないようにして「受付」で支払うこと。

【主管事務局連絡先】

高橋 則雄 （置賜地区柔道連盟事務局長）

〒999-2266 住所：南陽市長瀬 125

Tel：090-2020-5734

E-mail：takahashi_n3206@ybb.ne.jp

第 66 回山形県南北対抗柔道大会 山形県柔道高段者大会に伴う

＜新型コロナウイルス感染防止対策＞

1 健康記録表提出義務等

- (1) 新型コロナウイルスに係るクラスターの発生を予防し、もし感染が発生した場合の濃厚接触者の追跡を容易にするため、大会参加者（選手、監督、役員、係員等）は、大会1週間前からの体温と症状の有無を記した「健康チェックシート」（別添1）及び「大会当日用健康チェックシート」（別添2）を当日提出すること。また入場に当たっては、改めて体温測定を行う。
- (2) 各軍の監督は、大会当日、「利用者名簿」（選手・役員・審判を含む）（別添3）を受付に提出すること。
- (3) 健康記録表に異常がある場合や以下の場合には原則入場できない。
 - ① 体調がよくない場合(37.0度を超えるような発熱、咳、臭覚・味覚に異常等がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合また入場しても発熱や決められた感染予防措置を遵守できないときには退場してもらうことになる場合があることを予め了承すること。

2 具体的な感染予防措置

全ての参加者（選手、監督、役員、係員等）は、大会会場に入場する場合、不織布マスクの着用、手洗い、手指の消毒等を確実に実施すること。

※ 選手も対戦中以外はマスクを着用すること。

3 監督・副監督について

選手と同様の健康記録表を提出すること。試合中は大声での指示・指導は禁止し、審判員に厳重注意と退場の権限を与える。（これは選手等も対象とします）

4 審判員、役員及び係員の対応

審判時もマスクを着用する（1審制を予定）。

試合中、大声を出す監督や選手には、厳重注意をするとともに、守らなければ退場させる強い権限を有する。

役員・係員は、ソーシャルディスタンスを確保し、常時マスクの着用を原則とする。

5 その他

要所・要所に「手の消毒」「マスクの着用」等の張り紙をするなどして、周知徹底を図る。